

イパーブとは何ですか？また、どのように使うのですか？

イパーブとは、地球を周回する衛星に向けて遭難警報を発信するブイ式の装置です。

遭難時には必ずスイッチをONにして退船時には携行してください。(携行が困難な場合には、水中へ投下してください。)救命いかだ等へ移動した後は、イパーブの曳航索をいかだ等に結びつけ海面に浮かべてください。電池能力は充分(48時間、小型船舶用は24時間)にありますので救助されるまでスイッチは切らないでください。

なお、自動浮揚型のイパーブは、船が突然沈没したときにも自動浮揚し遭難警報を発信しますが、誤発射防止のため水深約4mまで沈まないと作動しません。これはあくまでも遭難時に携行できない場合を想定したもので退船時にはできる限り携行してください。

